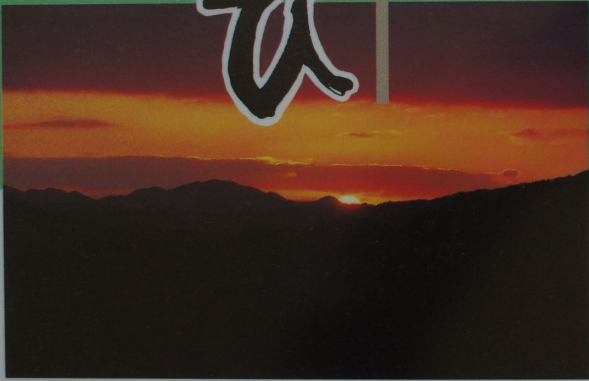
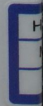


東市



'94村勢要覽



村民憲章

わたくしたちは、

この村を育てた先人の偉業を尊び
誇りをもって、

住みよい旭村の建設と繁栄をめざし、

この憲章を定めます。

一、自然を愛し、ふれ合いをもとめ

清潔で美しい村をつくります。

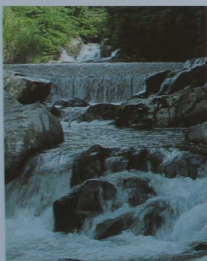
一、仕事に励み、産業をおこし、

平和で豊かな村をつくります。

一、伝統を生かし、未来をひらき、

健康で明るい村をつくります。

村勢要覧



過去と未来が行き来する

特集① 萩往還



石畳の上を風が行く
……あの日のように。



●一升谷
「約2kmの坂道で、あまりにも急なため、この坂道に取りかかって炒り豆を食べ始めると、登りきるまでに一升なくなる」ということでその名がついたといわれる。一升谷から五文蔵の峠にかけては石畳も数か所に残っており、往時の様子が偲ばれる。



萩往還 萩市から旭村を通り、山口市を経て防府市三田尻に至る十一里三四町52・75kmの街道である。徳川幕府によって整備された五街道を中心とする交通体系の中で、山陽道は江戸・上方へ通じる幹線交通路として重要視された。萩街道はその山陽道のさらに支線であったが、慶長九年（1604）の毛利輝元の萩築城によって、政治的に大切な意味を持つようになった。参勤交代、萩から江戸へ、江戸から萩へ、毛利公の従える大名行列がこの街道を往来するようになったのである。萩街道は「萩往還」または「御成り道」と称されて、御茶屋、本陣、馳本陣、御駕籠建場などが整備された。さらに、萩城下町と各地の特産品が行き来し、萩往還はおおいに賑わった。しかし、明治以降はかつてほどの往来はなくなり、自動車の通る道路が別のルートででき、人と物の流れはどちらへ移った。萩往還は緑に埋もれ、忘れられたか見えなくなった。近年昔日をしのぶ歴史を辿る道として見なおされ、再びその名は輝きを放ちはじめて



ドイツに学ぶ
住みよい村づくりの
ノウハウ



特集③

Willkommen in Asahi

Guten Tag! ÜHLINGEN-BIRKENDORF
こんにちは!
ユーリンゲン-ビルゲンドルフ



平成一四年六月十二日 旭村はドイツのユーリンゲン・ビルゲンドルフ村と姉妹結組を結び、その協定書をユーリンゲンの宗テで交わした。平成元年に大石村長が日独親善交農農村振興対策事情調査団の副団長として、ビルゲンドルフを訪れた際、元村長と独日友好協会会長のカール・スルタードル氏と親しんだことから両村の交流が始まり、進展

ユーリンゲン・ビルゲンドルフはスイスに近い緑豊かな村。ビルゲンドルフは「我が村は美しい」コンクールを金賞を受賞したこともあり、村をあげて農村景観の創造に努力している。また、農村・農業に対する理解、憩いの場の提供のため「農家で休暇を」運動を進めている点を学ぶところが大きい。

今後は相互の親善を深めながら、国際感覚を養い、村づくりを反立てていきたい。



村は国際派!
新しくあたたかい絆





特集④

ASAHI ACTIVITY PARK

旭アクティビティパーク

平成9年4月

オープン予定

21世紀に
アクセルON!

おもいきり深・呼・吸
緑の風を存分に



「旭アクティビティパーク」は村の南東部
山口市との境、小木原地区に計画されている
滞在型リゾート。人気レジャーとして定着し
つつあるオートキャンプのシステムと地形や
環境を活かしたモータースポーツを組合わせ
て、自然をより身近に感じながら楽しく遊べ
る施設を目指している。

計画ではモータースポーツゾーンに「オ
フロードエリア（レーシングカートエリア）
を設定。また遊歩場の少ないこれらのスポー
ツを多くの人に楽しんでもらおうと狙ってい
る。また〈宿泊施設ゾーン〉にはオートキャ
ンプエリアとレンタルコーナーエリアを設
け、幅広く利用してもらう考え。その他各種
アウトドア教室の開催、多目的広場、フィー
ルドアスレチック、自然散策道などが計画さ
れている。国道262号沿いという好立地、自然
景観の高まり、アウトドアライフ志向の定着
で、この旭アクティビティパークが人気を呼
び、評価を得、地域活性化へつながることが
期待される。

特集⑤

いつだって
元気!

2つぼり工一農塾

自分で創る 「ナニカオモシロイコト」は



二十一世紀村づくり塾として平成二年(1990)に開講。40代を中心に20代から70代までのメンバーが「地元にあるものを掘り起こしながら村を見直し、イメージアツプを図り、また、都会との交流も活発にしたい」とユニークな活動を行っている。

大阪っ子にも 受けています



平成四年六月、大阪府堺市にアンテナショップを開設(「都会の消費者へ」と旭村の特産品を週二回出荷している。併せて大阪では村出身者で作る関西山映(やまなご)のメンバーがそれぞれの旭村をアピール。「村の出張所」は農村と都市との交流を深める基地としての役割を担っている。



昔々の冷蔵庫 氷室

21世紀の森キャンプ場内に「氷室」を復元。2月に氷詰めをし、7月に氷室開きをしてかき氷やソーメンなどを楽しむ。氷室は冷蔵庫などなかった時代の、夏まで氷を保存しておく知恵。現代版氷室は、縦3m、横3m、高さ1.3mの木箱とおくまで構成。氷詰めも氷室開きも村の新しい風物詩になりつつある。





特集⑥

手捻りの日々

澄んだ水、空気、緑に惹かれて……
陶芸の里づくり

「秋の七変化」といって、使い、込むうちに微妙に肌色に変化を帯びる萩焼の茶碗。その風情が茶人に好まれ、「二葉」「萩三唐津」とも謳われる。

旭村に窯を開いて創作活動を始めた人たちがいる。明水を中心に現在7軒。新しい。陶芸の里である。陶芸家たちはみな、旭村のなにかに惹かれて移り住んできた「新村民」。その出身は福岡や宮崎、千葉など全国各地。萩市生まれの内村幹雄さんも、岡山・備前から村の自然を気に入ってリターンしてきた。都立の听謡から遠く、空気を水も言ひ。夜は星が降ってくるようだ。伝統を受け継ぎながらそれぞれの個性を活かした作品がここで生まれている。新しい風が吹きぬけていく。





これが本村の重要幹線である。



概要

本村は、昭和28年町村合併促進法公布施行に伴い、旧明木村と旧近々並村との合併を決議し、新名を「旭村」として昭和30年4月1日(発定)、現在に至っている。

本村は、山口県のほぼ中央、中国山脈の日本海側に位置し、北は萩市、東は川上村及び阿東町、南は山口市、西は美祿郡東町にそれぞれ接している。

村域は東西14km、南北10km、面積1,340.4km²となっており、林野が全体の9%を占め、耕地は4%にすぎない。近年は転作、休耕、産地化などが進み、土地利用率が低下してきている。気候は山陰型といえ、寒暖の差が激しく、特に冬季は低温となり寒さが厳しい。

古くから江戸への参勤交代の通過地として、交通の要所となり発展してきた。このための参道を中心に、上長藩の一里塚、鹿背坂隧道、吉田松陰東送の碑など多くの歴史的、文化的遺跡が見られる。また彦六又十郎の碑、大下の神楽、日南瀬の首切れ地蔵など民間信仰は伝説、民話も伝わっている。

人口は昭和55年から59年にかけて急激に減少し、昭和65年に過疎地域の指定を受けた。また、65才以上の高齢者の割合が高く、今後高齢化は進む傾向にある。

産業別就業人口を見ると、第一次産業人口が最も多く、基幹産業は農林業といえる。

しかし、過疎化、高齢化の影響から第一次産業人口は減少し、第二次産業人口が増加の傾向にある。

また、交通網は道路で、防府・萩間を結ぶ国道10号、路線バスを南北に走らせており、これが本村の重要幹線である。

等身大で愛してほしい。



村長
大石博英

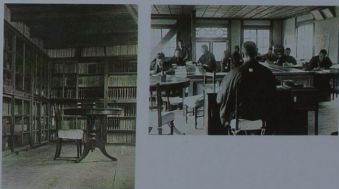
旭村は山口県のほぼ中央部において、南は山口市、北は萩市に隣接する比較的便利な農山村であります。昭和30年4月1日、二ヶ村合併により、旭日昇天の隆運をわがって、その名も旭村として発足しました。以来めざましい科学の発達、文化の進歩により、情報化、国際化、高速化、更に宇宙の時代と、世界は激しく変化してきました。年毎に都市集中が進み、本村も人口が半減して過疎、高齢社会となりましたが、この村里は山青く、水清く、四季の美、星の輝き、森林浴の快さと、極めて豊かな自然に恵まれております。萩から江戸へ上る参勤交代の街道、萩往還にそって早くから開けたところで、村のイメージソングも「ひとすじの道」であります。

いまドイツのユーリンゲン、ビルゲンドルフ村と姉妹提携の交わりを結んでおり、「世界に眼を開き、世界の眼をこの村に」、「村に光を、若者に夢を」をかかげ、清潔で美しい村、平和で豊かな村、健康で明るい村をめざし、村民一丸となって喜んで住める村にしたいと念願しております。

ささやかな村の要覧ですが、ご覧いただき、幾分でもお役にたてば幸いです。

歴史は静かに語り継がれる。

昭和五年四月 旭村発足
 〃 村長 原田謙三氏当選
 昭和三年十月 役場庁舎（明木）および明木中学校屋内体操場落成
 昭和三年二月 明木図書館新築落成
 昭和三年一月 佐々並中学校新築落成
 昭和四年一月 明木小学校新築落成
 五月 佐々並夕ム竣工
 七月 台風襲来被害額九百九十九万円
 昭和五年七月 台風襲来被害額九百九十九万円
 〃 佐々並小学校舞谷分校廃校
 〃 国鉄自動車、舞谷線開通
 昭和三年六月 旭村商工会発足
 昭和三年四月 山口農高佐々並分校全日制普通科に切り替え
 七月 旭村佐々並公民館新築落成
 九月 旭村体育協会発足
 昭和六年一月 未曾有の大雪（積雪一・五メートル）
 三月 長高小学校廃校
 四月 国鉄自動車、矢代線開通
 十月 天皇、皇后両陛下明木庁舎で御休憩
 昭和五年四月 明木小学校矢代分校廃校
 六月 献上アワ插穂式、山田豊秋氏のほ場へ開催
 九月 献上アワ插穂式、狼山に墜落
 昭和四年八月 海上自衛隊練習機、狼山に墜落



昭和五年三月 明木保育園舎完成
 八月 明木中地区ほ場整備第一号手
 昭和五年三月 地籍調査事業完了（四年年度～五年年度）
 四月 見定下切地区にスクールバス運行開始
 八月 旭村社会福祉協議会法人化
 昭和五年三月 矢代線にスクールバス運行開始
 昭和六年三月 高齢者コミュニティセンター落成
 〃 矢代線発開通
 四月 二十世紀の森完成
 七月 健康増進センター完成
 二月 舞谷線、果ヶ谷線にスクールバス運行開始
 昭和五年四月 佐々並保育園舎完成
 九月 村木「ひのき」村花「うつつ」に決定
 昭和六年二月 山村広場完成
 四月 旭村民庫舎制定
 八月 旭村佐々並土地改良区設立
 十月 佐々並地区県営ほ場整備着手
 旭村発足二十周年記念式典舉行
 昭和三年三月 旭村保健センター完成
 四月 「こぶし」完成
 八月 皇太子殿下、紀宮殿下旭村保健センターで御休憩

昭和四年八月 佐々並川中震雨災害善後救済法適用される（被害総額推定十数億円）
 昭和四年五月 村長に児玉勇氏当選
 〃 故滝口高輝氏、村葬執行
 昭和四年四月 保善園開園
 八月 佐々並ハイパス完成
 昭和四年七月 旭村森林制定（霧集による）
 昭和四年四月 旭村森林組合発足
 八月 佐々並中学校プール完成
 昭和四年七月 明木小学校プール完成
 三月 鎌倉被服株式会社旭工場誘致作業開始
 昭和四年七月 佐々並、大幹線大代林道完成
 昭和四年三月 佐々並農協育苗センター完成
 七月 過疎地域振興計画をみる
 〃 山村振興計画をみる
 昭和五年三月 故瀧部求治氏、村葬執行
 五月 村長に大岡英氏当選
 昭和五年四月 救急業務開始（秋市消防本部）
 五月 故瀧口純益氏、合同葬執行
 昭和五年五月 不燃物処理場完成
 八月 国道二六二号明木ハイパス開通
 〃 旭村一般電話自動化開通
 十月 旭村第一回式（式）で三人に選理状を贈る
 昭和三十八年 以来の家畜（種畜九五センチ）
 十月 旭村発足
 昭和六年八月 明木ライオンセンター完成



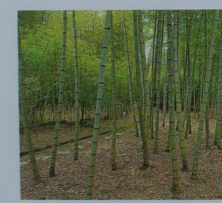
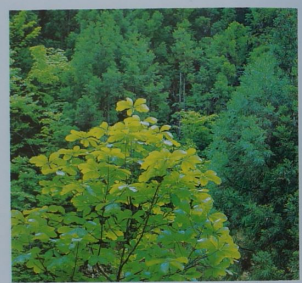
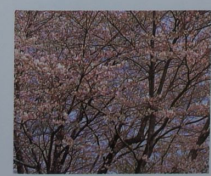
十月 NTK特別巡回ラジオ体操会
 山村広場の開催
 昭和五年二月 明木農協産物加工場完成
 三月 菅原農舎開通
 昭和五年三月 歴史の道「萩往還」国文化財指定
 〃 国鉄バス佐々並駅まで販売業務廃止
 十月 旭村青少年育成村民協議会
 平成元年七月 旭村インセンティブ「おとすじの道」「あさひの道」完成
 平成十年十月 旭村発足二十五周年記念ふれあいコンサート開催
 十月 第一回旭グリーンアドベンチャーマラソンを開催
 平成二年九月 台風襲来被害見舞額二千八百万円
 二月 佐々並農協改革
 〃 防災行政無線通信設備完成
 平成四年三月 萩有科道路開通
 六月 大阪堺市に「村の出張所」開設
 〃 ドイツユウリオンツベルゲンドルフ村と姉妹提携
 平成五年四月 旭バークタウン分譲開始
 七月 皇太子殿下、皇太子妃殿下旭村保健センターで御休憩
 八月 原田謙三氏、合同葬執行
 平成六年六月 「道の駅 オープン」



環境

緑と共にある暮らし

豊かな緑と水に恵まれた自然は、本村の誇りであり、かけがえない財産です。これを守りながら、村民が安心して生活できる、人によさしい生活基盤づくりをしています。生活の高度化、多様化に対応する生活環境の確保、交通・通信体系の整備、河川等の公共用水域の保全、下排水路の整備、ふれあいの場の整備に努めています。さらに村民の尊い命、大切な財産を守り、安全な生活を確保するために、消防防災体制、救急救助体制の充実強化をし「魅力ある住みよい村づくり」を目指しています。



すこやかで安全、安心の毎日。



愛する旭村



兄玉 勝利さん

思い切った発想の転換で
村に活気を

生まれも育ちも旭村です。今はホーリング畑の仕事をします。旭村は山口県の内ノ、山へも取れも近く通車できるのに、今は通車点にすぎないというが現実じゃね。よく言われることじゃけど、若者定住がうまくいってないんじゃないかな。魅力ある村づくり、こののが受けもよると思うよ。私もええ年にならって実情がわかるからあれじゃあ、言わなければ、活性化が「村を愛する」とか言われてもいらない。思い切った実行せよ。でも、誰か作って置いたら、使ってもらえんよ。えんよ。若い人の、そんる頭も、必要じゃね。人材の確保、それにはまず働く場所がない。福祉の充実と生活不安の対策、ここがしっかりしてないとしたら住むだけの所じゃあならない。人権もあって便利なのも、いいから、もうこの地での生活の質を上げて、「コミュニケーション」を促すために、来年も旭村に住みたいという子供のために、大人が本気で活動ある仕組みづくりの取組をまんじけんね。



ほのぼの コミュニケーション



私のサムシング発見！ ライフステージに彩りを。

村民の一人一人が生きがいのある生活を送れるよう、村の風土、伝統に根ざした地域性豊かな文化の創造に向け、生涯学習の理念のもと、婦人学級、高齢者学級、成人大学等ライフステージに対応した学級や講座を開設しています。公民館、図書館を拠点とし、地域文化を高めるため、地域風土や、伝統に根ざした文化の掘り起こし、文化祭・音楽祭など気軽に参加できるイベントの開催や、地域に古くから伝わる祭、行事、芸能、歴史民俗資料等の保存、後継者の育成に取り組んでいます。

さらに、生活意識の変化、自由時間の増大によってスポーツ・体力づくり活動へのニーズが高まっている中、スポーツ施設や野外活動施設等の整備充実に努め、各種スポーツ団体・クラブの育成強化など、全ての村民がそれぞれの年齢や適性に応じて生涯に亘るスポーツ・体力づくり活動を楽しめるよう、また、交流の活性化を図るなど「心豊かな村づくり」を目指しています。



旭の昔話

彦六・又二郎物語

毛利のお殿様が萩にお城を築かれたことになって、村の暮しは厳しくなりました。作る米はもていかれ、粟ももの制限があり、城作りや運作りの命争いあって畑仕事もままならないありさまでした。

そのころ、萩の橋の大屋は、口屋（問所）のようものが、置かれ、口屋銭といって売りに行くや成の数で税金とられていました。その役人は、決まりより多く口屋銭をとっては自分の利益にするというくさい男で、みんな困っていました。

さて、城作りの又二郎さんが石屋を組むいきました。二人も力強い大男でした。しかも普通の人の一握も三握も仕事でした。ようやくお城が完成したとき、二人の働きぶりを知り、殿様がほづゆをやることになりました。二人は、ほづゆはひらいたまから、村の者が、大屋の口屋銭を払わなくてもよいにしてくれと、お殿様にお願いしました。殿様は感心し、その願いをおこなうことになりました。

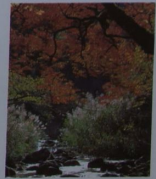
二人の力を称える石碑のあゆみ寺には、今でも二人の供養の法要が行われます。





快汗！カントリイライフ おらが村の産業振興

産業

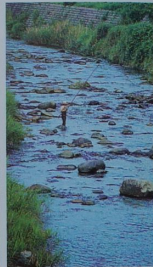


農家は、一戸あたりの経営面積が小さく米作を中心とした単作経営がほとんどです。このため圃場整備など生産基盤の整備とともに、地域農業の集団化を図り、大型機械の導入、中核農家および後継者の育成等農業構造の改善に努めています。さらに、大阪の「村の出張所」等特産品販売所の設置による流通の近代化と販路の拡大を進めています。

本村の森林面積は全面積の91%を占め、基幹産業とならざるを得ませんが、林業振興に当たっては諸問題は山積していますが、これら問題の解決のため、生産目標を定めた保育・間伐・植林から伐採まで一貫した組織化・集団化、大規模林道等林道網の整備による林業の合理化、近代化を図っています。

本村の商工業は、村内住民を対象とした個人企業が主体であり、商工会等と協力して経営改善、近代化等、地元企業の発展育成に力を入れています。また、住民の生活環境を優先した企業誘致を進めています。さらに、「道の駅」等の特産品販売所を利用した宣伝・販売を進め、地域資源を有効に活用した特産品の開発に取り組んでいます。

作り育てる喜び



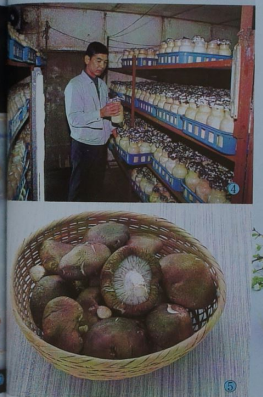
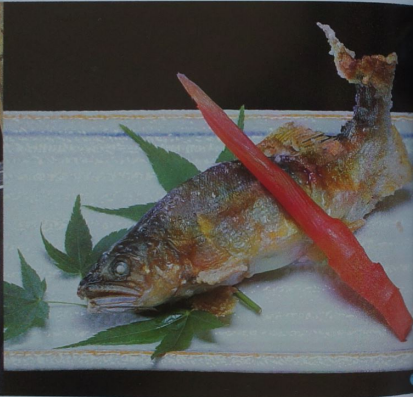
旭の昔話

木村源内の 化け物退治(佐々並)

昔、お隣の川上戸の太四郎山の穴に、母子の狐が住んでいました。年ころの娘狐は人間のお嫁さんになりたいと考えていました。誰も相手にしてくれませんが、そこで嫁狐は村人を深い谷に連れ出し、谷底へ突き落とし殺してしまいました。

そのころ、真田幸村の部下の木村源内という勇士ののまいたましお侍が、佐々並の本へ入るのひでました。仮住いの生活も落ちついたある夜、源内が床に響くと、初五でかきと首がします。そこ見てみると、若い美しい娘がそそくさと足音をばいります。髪上かうらやまとしてそのはななく、あに「闇の王」が「ついで」してた。それから毎晩同じことが続きます。そこは内は裏来と相談して、息強のを頼み、自分刃を隠しちて休みました。夜も更けてさややく、例の娘がそこらこちを覗きまはして大きな女狐が曲角の目玉をうらま井のら逃げ出たてました。目明の中、血の跡をたつてやん、太四郎山の穴の上へ、息もええ娘の娘狐を母狐の姿がありました。その後は村人が近代化かされて死んでいなくなっていたといひます。





- ① 清酒
- ② なす
- ③ いんげん
- ④ しめじ
- ⑤ しいたけ
- ⑥ まんじゅう
- ⑦ あゆ
- ⑧ 「コシヒカリ」
- ⑨ 清酒の仕込み
- ⑩ 佐々並豆腐

旭鶴はの味わい



官公署一覽

官公署・事業所	所在地	電話
旭村役場(明木庁舎)	明木3174	55-0211(代)
旭村役場(佐々並庁舎)	佐々並2625	56-0211(代)
旭村教育委員会	明木2937	55-0014
明木公民館	明木2937	55-0014
佐々並公民館	佐々並2663	56-0008
明木図書館	明木2937	55-0314
旭村保健センター	佐々並2493-4	56-0753
旭村高齢者コミュニティセンター	佐々並2494-1	56-0856
明木小学校	明木3039	55-0012
佐々並小学校	佐々並2684	56-0009
明木中学校	明木2363	55-0013
佐々並中学校	佐々並2499	56-0017
明木保育園	明木2909	55-0755
佐々並保育園	佐々並3128	56-0844
J A 明木	明木3248-3	55-0311(代)
J A 佐々並	佐々並2520	56-0311(代)
旭村森林組合	明木2931-1	55-0004
旭村森林組合佐々並支所	佐々並2656-1	56-0040
旭村商工会	佐々並2662-6	56-0137
萩警察署明木警察官駐在所	明木2965-11	55-0110
萩警察署佐々並警察官駐在所	佐々並1881	56-0110
明木郵便局	明木2960-2	55-0200
佐々並郵便局	佐々並1903	56-0200
ちはるえん	明木4781	55-0333
道の駅あさひ	佐々並2476-1	56-0278

旭村

GUIDE MAP



財政

1. 一般会計歳入決算

(単位：千円)

区分 年度	総額	村税	地方 課与税	自動車 取得税 交付金	地方 交付税	交通安全 特別交付金	分担金 及 負担金	使用料 及 手数料	国庫 支出金	県 支出金	財産 収入	寄付金	繰入金	繰越金	諸収入	村債
昭30	86,288	11,863	—	—	6,000	—	723	88	13,248	1,067	39,425	1,288	—	618	541	11,400
35	72,765	13,153	—	—	14,514	—	2,143	228	2,643	5,714	26,470	610	—	1,521	2,569	3,200
40	93,524	15,487	—	—	35,403	—	1,165	271	3,399	5,514	18,831	197	—	6,583	1,574	5,100
45	207,593	22,070	—	4,160	86,764	85	4,420	1,619	10,065	27,411	18,345	80	—	4,395	1,889	16,200
50	525,846	39,904	6,274	13,297	265,485	523	7,610	3,675	28,642	72,868	4,353	110	—	7,720	2,485	73,500
55	1,269,905	75,796	18,055	15,496	488,300	426	29,727	9,687	209,442	87,245	24,665	638	18,920	38,774	12,634	239,500
60	1,612,083	119,426	16,071	16,239	667,760	641	27,206	14,193	209,317	175,294	49,503	421	—	46,664	12,145	257,200
平2	2,033,890	133,297	28,157	23,066	1,138,580	1,172	39,919	23,487	63,814	187,371	48,957	1,305	67,876	97,233	42,776	137,000
3	2,400,914	144,773	29,636	24,069	1,161,624	1,328	43,973	20,295	109,563	238,261	62,756	200	247,041	76,117	42,778	201,500
4	2,652,526	154,312	32,115	24,480	1,221,818	1,198	31,525	19,242	101,403	266,052	42,663	200	442,840	42,262	29,210	243,200

資料：旭村歳入歳出決算書

2. 一般会計歳出決算

(単位：千円)

区分 年度	総額	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水 産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害 復旧費	公債費	諸 支出金
昭30	79,070	982	32,549	2,021	134	2,580	—	2,842	658	11,989	23,859	1,325	—
35	71,539	1,297	15,312	2,532	303	16,310	—	4,029	5,024	15,549	5,958	4,625	—
40	85,759	2,609	18,551	2,361	603	19,384	207	11,726	1,453	17,347	5,993	5,525	—
45	203,592	5,808	30,526	10,319	4,608	67,422	3,184	26,738	2,103	37,407	5,883	9,594	—
50	514,268	16,851	84,396	45,215	8,503	146,607	581	94,973	5,237	79,781	14,506	17,018	—
55	1,225,505	30,158	202,410	85,806	17,614	403,651	954	216,717	18,680	121,444	35,452	92,470	149
60	1,583,400	38,535	185,297	86,518	99,723	409,438	2,101	213,995	23,645	142,984	114,447	266,717	—
平2	1,957,874	47,011	549,178	164,976	27,399	393,681	2,497	155,589	25,582	234,127	31,797	326,057	—
3	2,361,652	50,402	748,134	271,834	43,831	444,634	3,259	196,445	65,569	153,470	59,054	325,019	—
4	2,599,421	52,415	964,943	298,820	42,332	462,963	13,557	168,407	29,917	226,154	18,586	321,320	—

資料：旭村歳入歳出決算書

3. 村税収入額

(単位：千円)

区分 年度	村民税個人	村民税法人	固定資産税	軽自動車税	たばこ消費税	電気税	木材引取税	特別土地保有税	計
昭30	2,718	—	41	5,238	218	578	2,356	—	11,861
35	—	3,802	—	6,922	162	888	766	—	13,151
40	3,846	—	310	7,501	525	1,470	561	—	15,486
45	6,116	—	339	9,932	1,108	2,614	907	—	22,070
50	15,801	—	1,754	15,704	1,181	3,525	1,145	37	39,904
55	31,806	—	2,858	29,844	2,421	5,143	3,121	21	75,796
60	43,891	—	5,872	56,430	3,519	5,196	4,262	96	119,426
平2	48,392	—	4,830	71,062	3,969	4,960	—	—	133,297
3	49,697	—	6,118	79,364	4,438	5,071	—	—	144,773
4	54,286	—	7,043	83,573	4,315	5,016	—	—	154,312

資料：旭村歳入歳出決算書

行政・議会

1. 歴代村長

代号	氏名	就任年月日	辞任年月日
初代	原田 謙三	昭和30.4.30	昭和42.4.30
2	児玉 勇	42.5.1	50.4.30
3	大石 博英	50.5.1	現在に至る

2. 歴代助役

代号	氏名	就任年月日	辞任年月日
初代	若竹 勤植	昭和30.6.17	昭和42.4.30
2	竹本庄之助	42.5.15	47.7.12
3	前田 忠行	47.7.13	51.7.12
4	松田 義貞	51.7.13	62.7.30
5	上田 康弘	62.8.1	現在に至る

3. 歴代収入役

代号	氏名	就任年月日	辞任年月日
初代	竹本庄之助	昭和30.6.17	昭和42.5.14
2	山田 俊一	42.5.15	51.5.15
3	藤井 秀夫	51.7.13	59.7.12
4	椿 保男	59.7.13	現在に至る

4. 歴代議長

代号	議長	就任年月日	辞任年月日
初代	松田 治雄	昭和30年4月13日	昭和30年7月31日
2	三浦 丑雄	30.8.8	31.8.8
3	竹内 菊正	31.8.8	32.8.8
4	木村 延恵	32.8.8	33.8.12
5	村田 重長	33.8.12	34.7.31
6	山中千代大	34.8.8	35.8.8
7	三戸 友一	35.8.8	36.8.5
8	溝部 頼善	36.8.5	37.8.8
9	滝口 昭	37.8.8	38.7.31
10	松田 敏一	38.8.7	39.7.20
11	堀 清貞	39.7.20	40.7.31
12	藤本 喜好	40.7.31	41.7.30
13	永田 茂路	41.7.30	42.7.31
14	真田 正人	42.8.7	44.7.29
15	植村 幸重	44.7.29	46.7.28
16	中村 繁敏	46.8.9	48.7.28
17	横山 友一	48.7.28	50.7.31
18	山本 誠	50.8.8	52.7.28
19	阿部 利肥	52.7.28	54.7.31
20	林 巖	54.8.1	58.7.31
21	木村 正一	58.8.1	62.7.31
22	守永喜代晴	62.8.1	平成3.8.6
23	水津 美	平成3.8.7	5.8.7
24	木原 輝智	5.8.7	現在に至る

5. 歴代副議長

代号	副議長	就任年月日	辞任年月日
初代	木村 延恵	昭和30年4月13日	昭和30年7月31日
2	村田 重長	30.8.8	31.8.8
3	小林 美次	31.8.8	32.8.8
4	互原憲代一	32.8.8	33.8.12
5	岡藤 種雄	33.8.12	34.7.31
6	三戸 友一	34.8.8	35.8.8
7	溝部 頼善	35.8.8	36.8.5
8	滝口 昭	36.8.5	37.8.8
9	真田 正人	37.8.8	38.7.31
10	堀 清貞	38.8.7	39.7.20
11	真田 正人	39.7.20	40.7.31
12	永田 茂路	40.7.31	41.7.30
13	広田 孝雄	41.7.30	42.7.31
14	野上治郎吉	42.8.7	44.7.29
15	澄田 延彦	44.7.29	46.7.28
16	橋本 忠一	46.8.9	48.7.28
17	山崎 憲雄	48.7.28	50.7.31
18	林 巖	50.8.8	52.7.28
19	竹本 喜一	52.7.28	54.7.31
20	木村 正一	54.8.1	58.7.31
21	神崎 一夫	58.8.1	62.7.31
22	山本 誠	62.8.1	平成3.8.6
23	木原 輝智	平成3.8.7	5.8.7
24	矢田節金治	5.8.7	現在に至る

土木・交通・通信・消防

1. 道路状況

平成5年4月1日現在 (単位: m、%)

区分	国道	県道		村道			計
		主要県道	一般県道	一級	二級	その他	
実延長	23,017	13,794	24,662	28,037	19,274	53,065	97,745
改良率	93.2	81.4	32.9	73.1	48.5	27.1	37.4
舗装率	100.0	100.0	96.7	79.3	60.8	71.4	66.5

資料: 山口県土木建築部道路整備課 山口県の道路状況

2. 種類別自動車台数(普通車~特種用途車)

各年3月31日現在

年次	総数	貨物用			乗合	乗用		特殊用途車
		普通	小型	被けん引		普通	小型	
昭50	723	25	219	—	4	2	460	13
55	984	30	249	—	3	4	686	12
60	1,015	38	203	—	3	9	747	15
平2	1,015	48	176	—	4	15	748	24
3	1,027	48	169	1	4	29	753	23
4	1,012	46	172	1	5	47	715	26
5	1,000	47	177	1	5	71	673	26

資料: 中国運輸局山口県陸運事務所

3. 道路交通事故件数及び死傷者数

年次	事故件数	死傷者		
		総数	死者	傷者
昭40	22	26	1	25
45	28	45	—	45
50	25	47	2	45
55	21	36	—	36
60	21	30	1	29
平2	31	51	3	48
3	15	18	—	18
4	20	26	1	25
5	37	53	1	52

資料: 交通事故統計

4. 救急車出動件数及び搬送人数

年次	総数		交通事故		急病		その他	
	出動件数	搬送人数	出動件数	搬送人数	出動件数	搬送人数	出動件数	搬送人数
昭45	3	3	3	3	—	—	—	—
50	16	25	13	22	1	1	2	2
55	27	35	14	22	9	9	4	4
60	25	29	15	19	7	7	3	3
平2	52	62	30	40	15	15	7	7
3	47	57	28	39	13	12	6	6
4	46	51	23	28	14	14	9	9
5	59	68	43	53	12	11	4	4

資料: 萩市消防本部

5. 消防力の推移

年月日	団員数	消防機械			消防水槽		
		計	普通消防自動車	小型動力ポンプ	計	40 t	20 t
30. 7. 3	148	6	—	6	—	—	
35. 1. 1	143	6	—	6	—	—	
40. 5. 31	145	8	2	6	—	—	
45. 4. 1	142	8	2	6	—	—	
50. 4. 1	144	8	2	6	2	—	
55. 4. 1	145	8	2	6	2	2	
60. 4. 1	140	9	2	6	9	4	
2. 4. 1	130	11	2	6	1	6	
3. 4. 1	130	13	2	6	3	6	
4. 4. 1	130	14	2	6	5	6	
5. 4. 1	160	14	2	6	6	6	

資料: 総務課「山口県統計年鑑」

6. 火災発生件数

年次	計	建物	山林	その他
昭30	2	1	1	—
35	4	1	3	—
40	3	1	2	—
45	1	1	—	—
50	1	1	—	—
55	—	—	—	—
60	—	—	—	—
平2	2	—	1	1
3	—	—	—	—
4	3	1	1	1
5	1	1	—	—

資料: 総務課「山口県消防白書」

くらしの早見表

 <p>世帯員数 1世帯に3.3人</p>	 <p>出生 26.1日に1人</p>	 <p>死亡 11.1日に1人</p>	 <p>転入・転出 4日に1人 4.1日に1人</p>	 <p>婚姻 45.6日に1組</p>
 <p>離婚 121.7日に1組</p>	 <p>村税 1人当たり61,044円</p>	 <p>医師 1,264人に1人</p>	 <p>交通事故 18.3日に1件</p>	 <p>人口密度 1km²に18.9人</p>

平成4年

3. 国民年金

平成3年3月31日現在 (単位：人・千円)

被保険者数		区分	受給権者数	年金額
総数	499	老齢年金	471	210,090
		老齢基礎年金	63	37,060
第1号	314	障害年金	14	11,057
		障害基礎	30	24,421
		母子母子年金	4	2,849
第3号	185	遺族基礎年金	6	4,819
		老齢福祉年金	61	20,166

資料：山口県国民年金事業年報

2. 医療費の状況 (老人対象者を除く)

区分 年度	件数	費用額 (千円)	1人当たり費用 (円)
平元	6,860	132,956	180,647
2	6,467	116,503	166,910
3	6,167	122,474	191,366
4	5,850	123,781	203,587
5	5,501	106,810	183,522

資料：「山口県国民健康保険事業年報」

3. 医療費の状況 (老人医療対象者)

区分 年度	件数	費用額 (千円)	1人当たり費用 (円)
平元	4,083	137,057	593,320
2	4,443	140,986	580,189
3	4,893	148,021	582,760
4	5,526	172,156	612,655
5	5,696	184,897	626,769

資料：「山口県国民健康保険事業年報」

保健・衛生

1. 国民健康保険加入状況

区分 年度	(年間平均) 被保険者		保険税	
	世帯数	人数	現年度調定額 (単位：千円)	1世帯当たり (単位：円)
昭30	826	4,547	1,671	2,023
35	750	3,849	2,330	3,106
40	691	3,178	5,903	8,543
45	654	2,444	10,423	15,937
50	504	1,623	23,267	46,164
55	463	1,350	41,452	89,530
60	451	1,114	51,678	114,585
平元	415	967	63,556	153,147
2	416	941	60,881	146,349
3	403	894	57,605	142,940
4	421	889	57,397	136,334
5	425	877	63,772	150,052

資料：山口県国民健康保険事業年報

4. ゴミ処理の状況

イ. 可燃物

年度	収集箇所数	収集日数	収集量(t)
昭50	16	91	26.22
55	20	155	64.75
60	30	155	74.00
61	30	155	76.00

資料：住民課

ロ. 不燃物

年度	収集箇所数	収集日数	収集量(t)
昭52	80	47	147
55	80	72	360
60	90	72	344
61	90	72	347

資料：住民課

建物 518㎡ 昭和52年7月21日
貯留ホッパー 昭和53年11月20日

八. 廃棄物処理状況

(単位：t)

区分 年度	計画処 理区域 内人口	計画収 集人口	収集量			自家 処理量
			焼却	埋立		
平元	2,620	2,620	382	88	260	157
2	2,586	2,586	386	93	249	165
3	2,554	2,554	206	98	—	163

資料：山口県生活衛生課

教育

1. 小学校の児童数の推移

各年5月1日現在

学校名	明木小学校				佐々並小学校				長高小学校				明木小学校矢代分校				佐々並小学校舞合分校									
	学級数	教員数	児童数	児童数	学級数	教員数	児童数	児童数	学級数	教員数	児童数	児童数	学級数	教員数	児童数	児童数	学級数	教員数	児童数	児童数						
昭30	7	9	296	156	140	8	11	280	139	141	3	4	54	22	32	1	1	10	5	5	1	1	9	4	5	
35	9	11	317	162	155	8	10	302	141	161	3	4	64	27	37	1	1	6	5	1	1	1	13	6	7	
40	6	8	223	121	102	6	8	220	118	102																
45	6	8	174	91	83	6	8	134	67	67																
50	6	9	113	48	65	6	8	88	35	53	38年4月廃校				39年4月廃校				35年4月廃校							
55	6	9	119	64	55	6	10	82	44	38																
60	6	9	112	58	54	6	9	81	50	31																
平2	6	9	81	39	42	6	9	69	39	30																
3	6	11	78	37	41	6	9	67	35	32																
4	6	10	79	40	39	6	10	65	27	38																
5	6	9	75	42	33	6	11	68	28	40																
6	6	10	67	36	31	6	12	67	29	38																

資料：学校基本調査

2. 中学校の生徒の推移

各年5月1日現在

学校名	明木中学校					佐々並中学校				
	学級数	教員数	生徒数			学級数	教員数	生徒数		
年次	総数	男	女	男	女	総数	男	女	男	女
昭30	4	8	156	86	70	4	9	146	78	68
35	5	9	133	69	64	5	9	174	88	86
40	6	11	156	85	71	5	10	148	70	78
45	3	8	107	60	47	3	9	102	59	43
50	3	8	82	39	43	3	8	68	31	37
55	3	10	50	20	30	3	9	45	17	28
60	3	9	64	37	27	3	8	45	25	20
平2	3	10	47	23	24	3	9	42	26	16
3	3	11	46	23	23	3	11	40	23	17
4	3	10	37	16	21	3	10	37	25	12
5	3	10	42	15	27	3	9	34	22	12
6	3	12	44	19	25	3	9	30	19	11

資料：学校基本調査

3. 図書館(旭村立明木図書館)

年度	蔵書数
昭30	13,351
35	17,000
40	21,165
45	24,550
50	26,905
55	15,811
60	18,628
平2	21,250
3	21,542
4	21,935
5	22,270

資料：村立明木図書館

民生

1. 保育園

各年度4月1日現在

年度	総数			明木			佐々並			
	職員	園児	園児	職員	園児	園児	職員	園児	園児	
昭43	4	92	40	2	56	22	2	36	18	18
45	4	71	34	2	40	21	2	31	13	18
50	4	90	48	2	52	28	2	38	20	18
55	5	94	52	3	59	32	2	35	20	15
60	5	72	36	3	40	17	2	32	19	13
平2	5	73	32	3	41	22	2	32	10	22
3	6	70	31	3	38	19	3	32	12	20
4	6	78	41	4	44	23	2	34	18	16
5	7	75	36	4	45	21	3	30	15	15

資料：保育園

明木保育園

敷地面積 2,384㎡
屋外運動場 905㎡
建物 643㎡
(昭和54年3月建築)

佐々並保育園

敷地面積 1,895㎡
屋外運動場 1,080㎡
建物 410㎡
(昭和59年4月建築)

2. 身体障害者手帳所有者数

各年度4月1日現在

年度	総数		視覚障害者		聴覚または平衡機能障害		音声機能または言語機能障害		肢体不自由		内部障害	
	計	(内)男	計	(内)男	計	(内)男	計	(内)男	計	(内)男	計	(内)男
昭40	46	31	9	3	7	5	1	-	29	23	-	-
50	113	71	21	11	28	17	3	2	58	38	3	3
55	172	98	29	17	34	20	5	2	97	53	7	6
60	160	95	27	14	23	16	2	1	95	54	13	10
平2	158	79	26	16	24	12	2	1	91	46	15	4
3	155	80	22	12	20	9	4	1	98	51	11	7
4	154	79	22	12	20	9	4	1	97	50	11	7
5	158	79	20	11	23	10	5	2	98	49	12	7

資料：住民課

産業

1. 農家の推移(就業人口・経営耕地)

各年2月1日現在

年次	農 家 数				農家人口	農業就業人口	経 営 耕 地 面 積			
	総数	専業	第1種兼業	第2種兼業			総面積	田	畑	樹園地
昭30	671 ^a	72 ^a	419 ^a	180 ^a	— ^a	— ^a	54,485 ^a	52,259 ^a	2,226 ^a	— ^a
35	663	45	459	159	3,810	1,705	58,146	54,291	3,655	200
40	646	26	405	215	3,410	1,370	60,782	55,184	3,531	2,067
45	633	33	289	311	2,894	1,340	58,319	52,133	3,301	2,885
50	609	33	135	411	2,562	842	51,799	46,676	2,998	2,125
55	579	39	61	479	2,381	695	49,008	45,239	2,562	1,207
60	552	53	55	444	2,204	632	50,698	46,777	2,357	1,559
平2	500	68	31	401	1,923	575	48,783	45,612	2,107	1,064

資料：農業センサス

2. 農家の推移(規模別農家数)

各年2月1日現在

年次	規 模 別 戸 数								計	
	0.1ha以下	0.1~0.3ha	0.3~0.5ha	0.5~0.7ha	0.7~1.0ha	1.0~1.5ha	1.5~2.0ha	2.0~2.5ha		2.5~3.0ha
昭30	69	80	304	178	38	2	—	—	—	671
35	52	71	101	184	204	49	1	1	—	663
40	53	70	88	156	187	77	13	1	1	646
45	18	48	76	76	141	183	71	16	2	633
50	22	56	72	81	161	155	51	10	1	609
55	16	56	68	83	146	163	36	10	1	579
60	76	49	207	142	54	20	3	1	—	552
平2	54	48	185	136	40	24	10	3	—	500

資料：農業センサス

3. 家畜飼養農家戸数及び頭数

各年2月1日現在

年次	肉用牛(役肉用牛)		乳用牛		豚		馬		鶏			
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	採卵用		ブロイラー	
									戸数	羽数	戸数	羽数
昭30	—	650	—	11	—	—	—	—	54	—	—	—
35	519	692	28	44	40	115	45	48	436	2,877	—	—
40	405	569	22	37	42	510	11	11	256	9,703	3	447
45	277	448	11	55	25	763	2	2	232	7,388	—	—
50	128	282	7	48	5	250	—	—	34	2,956	—	—
55	65	141	8	60	2	422	—	—	6	3,927	—	—
60	49	132	6	68	1	243	—	—	19	3,534	—	—
平2	27	114	4	76	1	195	—	—	9	353	—	—

資料：農業センサス

4. 林野面積(民有林)

(単位: ha, %)

総数	人口林	天然林	竹林	無立木地	更新困難地	人口林率
12,003	5,007	6,755	38	170	33	42

資料：山口県林業統計要覧

5. 所有形態別林野面積

(単位: ha)

総数	国 有 林		民 有 林					
	林野庁	その他の官公庁	森林開発公団	公 有				私 有
				県	林業公社	村	財産区	
12,149	146	—	679	80	634	2,690	—	7,920

資料：山口県林業統計要覧

6. 保有山林面積規模別林家数

(単位: 戸)

総数	農家林家	0.1ha以上1ha未満	規 模 別 戸 数						
			1~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~100	100ha以上a
533	459	84	180	116	102	28	12	6	5

資料：山口県の林業

7. 村有林及び私有林造林面積

(単位: ha)

区分	年次	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	3	4
		村有林	2	115	75	46	23	23	7	6	7
私有林	103	104	59	35	23	15	47	32	29	16	
計	105	219	134	81	46	38	54	38	36	26	

資料：山口県林業統計要覧

8. 村民所得

(単位: 千円)

年度	総額	第1次産業				第2次産業			第3次産業							
		計	農業	林業	漁業	計	鉱業	建設業	計	卸小売業	金融・保険	運輸	電気・ガス	水道業	サービス業	公務
昭42	871,597	448,869	268,734	176,713	3,422	189,093	5,441	173,311	21,223	234,689	28,385	21,650	26,929	31,075	94,091	33,559
45	1,216,797	592,517	268,959	313,936	9,622	304,038	—	280,885	23,053	320,242	53,776	35,034	16,156	6,466	163,702	45,108
48	1,725,313	769,871	370,326	389,367	10,178	321,096	—	133,270	187,826	634,346	124,045	58,615	92,079	21,706	214,837	123,064
51	1,977,898	611,415	460,320	137,975	13,120	415,207	86	316,580	98,541	951,276	104,258	88,711	129,628	2,527	382,294	243,858
54	3,022,154	713,396	400,500	295,774	17,122	1,281,446	438	1,087,665	193,143	1,070,643	85,794	145,775	135,689	5,251	487,608	210,526
57	2,349,128	598,919	410,364	188,555	—	737,323	—	536,252	201,071	1,660,092	208,117	508,561	116,764	49,803	129,641	647,206
60	2,384,894	503,153	412,415	90,738	—	819,108	—	634,266	184,842	1,831,791	180,928	501,624	140,920	55,725	183,436	769,158
63	3,139,406	566,411	379,990	186,421	—	1,207,487	—	943,230	264,189	2,112,822	226,643	702,469	129,165	81,638	225,993	747,314
平3	3,964,658	375,268	288,796	86,472	—	1,677,358	—	1,388,935	308,423	2,436,140	205,154	705,413	155,303	—	446,162	924,108

資料：市町村所得統計

人口

1. 人口と世帯数の推移

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口			明 木			佐 々 並				
		総数	男	女	世帯数	計	男	女	世帯数	計	男	女
大正9年	921	4,979	2,471	2,508	433	2,319	1,137	1,182	488	2,660	1,334	1,326
14	919	4,993	2,505	2,488	431	2,327	1,141	1,186	488	2,666	1,364	1,302
昭和5年	908	4,874	2,460	2,414	437	2,376	1,182	1,194	471	2,498	1,278	1,220
10	881	4,642	2,336	2,306	438	2,336	1,142	1,194	443	2,306	1,194	1,112
15	857	4,653	2,356	2,297	414	2,297	1,137	1,160	443	2,356	1,219	1,137
22	935	4,900	2,362	2,538	470	2,417	1,157	1,260	465	2,483	1,205	1,278
25	924	4,959	2,422	2,537	460	2,148	1,173	1,245	464	2,541	1,251	1,290
30	926	5,018	2,505	2,513	457	2,407	1,191	1,216	469	2,611	1,314	1,297
35	922	4,575	2,261	2,314	444	2,168	1,075	1,093	478	2,407	1,186	1,221
40	812	3,854	1,813	2,041	404	1,925	907	1,018	408	1,929	906	1,023
45	814	3,379	1,586	1,793	417	1,784	847	937	397	1,595	739	856
50	774	2,960	1,384	1,576	394	1,560	740	820	380	1,400	644	756
55	768	2,811	1,323	1,488	395	1,471	683	788	373	1,340	640	700
60	746	2,652	1,237	1,415	386	1,396	647	749	360	1,256	590	666
平成2年	742	2,478	1,135	1,343	384	1,298	595	703	358	1,180	540	640

資料：国勢調査

2. 年齢別人口

(単位：人、%)

年 齢	総 数	男	女	構 成 比			性 比 女100人対男
				総 数	男	女	
総 数	2,478	1,135	1,343	100.00	100.00	100.00	84.51
0～4歳	115	58	57	4.64	2.34	2.30	101.75
5～9	121	56	65	4.88	2.26	2.62	86.15
10～14	142	79	63	5.73	3.19	2.54	125.40
15～19	102	47	55	4.12	1.90	2.21	85.45
20～24	76	33	43	3.07	1.33	1.74	76.74
25～29	99	42	57	4.00	1.69	2.31	73.68
30～34	113	68	45	4.56	2.74	1.82	151.11
35～39	130	60	70	5.24	2.42	2.82	85.71
40～44	177	95	82	7.14	3.83	3.31	115.85
45～49	145	58	87	5.85	2.34	3.51	66.67
50～54	175	68	107	7.06	2.74	4.32	63.55
55～59	230	113	117	9.28	4.56	4.72	96.58
60～64	237	113	124	9.56	4.56	5.00	91.13
65～69	206	102	104	8.31	4.12	4.19	98.08
70～74	145	62	83	5.85	2.50	3.35	74.70
75～79	118	43	75	4.77	1.74	3.03	57.33
80～84	82	19	63	3.31	0.77	2.54	30.16
85歳以上	65	19	46	2.63	0.77	1.86	41.30
年齢不詳	—	—	—	—	—	—	—

資料：平成2年国勢調査

3. 住民基本台帳別人口

各年3月31日現在

年 次	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
昭31	935	4,942	2,420	2,522
35	941	4,870	2,396	2,474
40	872	4,107	2,006	2,101
45	836	3,556	1,667	1,889
50	806	3,150	1,492	1,658
55	805	2,999	1,428	1,571
60	806	2,857	1,355	1,502
平 2	761	2,605	1,215	1,390
3	765	2,572	1,198	1,374
4	759	2,528	1,181	1,347
5	795	2,513	1,159	1,354

資料：住民基本台帳

4. 人口動態

年次	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
昭55	27	31	△ 8	93	125	△ 32
60	22	29	△ 7	88	99	△ 11
平元	20	26	△ 6	66	95	△ 29
2	10	35	△ 25	73	81	△ 8
3	15	28	△ 13	60	91	△ 31
4	14	33	△ 19	92	89	3
5	11	38	△ 27	63	94	△ 31

資料：住民基本台帳

5. 産業別就業人口(15歳以上)

各年10月1日現在

年次	合 計	第 1 次 産 業								第 2 次 産 業							
		総 数		農 業		林 業 狩猟業		漁業・水産 養殖業		総 数		鉱 業		建 設 業			
		合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男		
昭30	2,792	1,513	2,347	1,180	2,125	1,010	214	166	8	4	140	123	1	1	84	75	
35	2,595	1,350	2,050	1,941	1,941	886	108	86	1	1	131	112	1	—	60	55	
40	2,133	1,061	1,641	1,615	1,615	714	25	21	1	1	118	82	6	—	60	46	
45	2,026	1,017	1,312	1,298	1,298	526	12	12	2	2	222	164	2	1	138	109	
50	1,816	907	1,045	1,032	1,032	407	9	8	4	4	258	165	—	—	121	91	
55	1,730	900	822	811	811	313	11	8	—	—	351	208	—	—	185	142	
60	1,607	836	674	656	656	265	16	12	2	2	368	218	1	1	201	150	
平 2	1,472	786	505	484	484	204	21	14	—	—	374	215	1	1	181	129	

第 3 次 産 業															
製 造 業	総 数		卸 売 業		金融・保険 不動産業		運 輸 業		電 気・ガ 斯 水 道 業		サ ー ビ ス 業		公 務		分 類 不 能
	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	合計	男	
55	47	305	210	76	41	20	15	50	52	108	62	49	42	—	—
70	57	414	265	124	63	4	3	46	43	8	8	188	109	44	39
52	36	373	242	116	53	6	2	54	49	11	11	138	85	48	42
82	54	492	313	155	75	14	9	73	66	15	14	183	108	52	41
137	74	507	322	146	74	18	9	81	79	8	7	187	99	67	54
166	66	556	371	156	96	17	11	74	70	13	7	228	134	68	53
166	67	565	339	161	88	20	12	71	65	5	3	244	117	64	54
192	85	590	351	169	91	18	10	74	67	6	6	260	124	63	53

資料：国勢調査

自然

1. 位置・広ぼう

方位	地名	極限経緯度	庁舎の位置		広ぼう	
			所在地	経緯度	東西	南北
東端	佐々並字奥白口	東経 131°31'44"	明木庁舎 (明木字西市)	東経 131°25'00" 北緯 34°20'30"	東西	14.94km
西端	明木字見定三ツヶ河内	東経 131°21'56"			南北	17.6km
南端	佐々並字コノノ浴	北緯 34°12'25"	佐々並庁舎 (佐々並字上市)	東経 131°27'59" 北緯 34°16'59"	計	134.04km ²
北端	明木字鹿背坂	北緯 34°21'56"			明木	50.54km ²
					積	佐々並 83.50km ²

資料：建設省国土地理院、地籍調査

2. 主要山岳

(単位：m)

山岳名	標高	所在地	山岳名	標高	所在地
男岳	789.3	佐々並黒ヶ谷	高羽山	621.3	明木矢代 (矢代山)
ダツヤ山	746.3	佐々並高津	石蔵山	589.6	川上村・ (石堂山) 佐々並白口界
西風翻山	741.9	山口市・美東町 佐々並長小野界	野丸岳	549.4	佐々並小松ヶ谷
東風翻山	734.2	山口市・ 佐々並高津界	御茶山	537.5	佐々並板橋
シヨウゲン山	710.8	佐々並高津	大藤山	523.1	萩市・明木見定界 (三ツヶ河内山)

注) 山岳名の () は通称名

資料：建設省国土地理院

3. 主要河川

(単位：km、km²)

河川名	区間		流域延長	流域面積
	上流端	下流端		
二級河川				
岡 明木川	(左岸) 明木字山下	(右岸) 明木字豆伝坊	阿武川への合流	16.5 70.1
岡 佐々並川	(//) 佐々並字長小野	(//) 佐々並字長小野	//	25.3 107.5
小 惣田川	(//) 萩市大字山田字東上屋	(//) 萩市大字山田東上屋	明木川への合流	12.5 23.9
小 日南瀬川	(//) 佐々並字堤ノ下	(//) 佐々並字津免多水	佐々並川への合流	6.7 4.1
小 小松ヶ谷川	(//) 佐々並字野々峠	(//) 佐々並字大迫口	//	4.5 7.1
小 小野山川	(//) 明木字平畑	(//) 明木字平畑	明木川への合流	3.6 14.6
小 一升谷川	(//) 明木字野口川平	(//) 明木字野口川平	//	2.8 2.1
小 舞谷川	(//) 佐々並字瓜かぶり	(//) 佐々並字飯ノ山	佐々並川への合流	2.7 8.7
小 黒ヶ谷川	(//) 佐々並黒ヶ谷	(//) 佐々並黒ヶ谷	//	2.5 10.9

注) 岡は支川 小は小支川を示す。

資料：建設課

4. 主要ダム・湖沼

(単位：m)

ダム、湖沼名	面積
佐々並ダム	266,378
小木原大堤	8,686
宇津ヶ浴大堤	2,974
角力場大堤	1,956
岡の台大堤	1,225

資料：地籍調査

5. 高度・地形別土地面積

(単位：km²)

総数	高度別土地面積				総数	地形別土地面積				
	0m以上	100m未満	100~300	300~500		500~1,000	1,000以上	山岳	丘陵	台地
134.0	7.2	34.7	70.7	21.4	-	134	134	-	-	-

資料：「山口県統計年鑑」

6. 土地利用状況および林野率

(単位：面積ha、率%)

総土地面積	耕地					林野				林野率
	総数	田	畑	樹園地	牧草地	総数	森林	原野	採草地	
13,404	556	513	37	6	-	12,201	12,135	66	647	91

総土地面積：国土地理院H4年全国都道府県市町村面積調

耕地面積：山口県農林水産統計年報(第3次)耕地面積調

林野面積：国有林は山口営林署資料、民有地は地域森林計画樹立資料

7. 地目別民有地面積

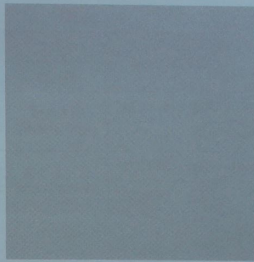
(各年1月1日現在、単位：a)

年次	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地
昭30	403,113	56,589	5,534	3,630	-	337,360	-	-
35	403,394	56,508	5,585	3,601	-	337,460	240	-
40	415,420	55,022	4,800	3,372	-	352,226	-	-
45	*380,074	54,238	4,741	3,332	-	317,744	-	20
50	379,336	53,425	4,615	3,426	-	317,850	-	20
55	348,527	49,881	4,579	3,570	504	284,042	4,609	1,342
60	623,953	56,592	5,033	4,377	2,664	548,048	4,545	2,694
平2	616,338	55,396	4,664	4,601	2,663	542,934	4,439	1,633
3	618,699	55,427	4,648	4,450	2,663	545,221	4,472	1,810
4	614,319	55,142	4,627	4,542	2,663	541,136	4,425	1,778
5	613,094	54,452	4,069	4,631	2,663	541,175	4,227	1,877

資料：税務課

注) この表は、地方税法により課税対象となる土地に関する台帳面の数字である。したがって、国及び地方公共団体の所有地、公共用地または公共用地等の非課税面は含まれない。

*の数値は換算のため各地目の計が総数にもとらない。(1反=9.9174a)



資料編

目次

自然	2 ~ 3
人口	4 ~ 5
産業	6 ~ 7
教育	8
民生	9 ~ 10
保健衛生	10 ~ 11
土木・交通・通信・消防	12 ~ 13
くらしの早見表	13
財政	14
行政・議会	15
官公署一覧	16



村章



村花：ツツジ



村木：ヒノキ

1994年旭村村勢要覧



秋市立図書館



111801221

山口県旭村

31

4